

徳島お掃除通信 No.140号

編集：神野弘 監修：鍛谷道明

石井町さくら認定こども園様③

平成28年8月30日(火) 8:30~12:30

テーマ「人を喜ばせる」



平成28年8月30日(火) 午前中、石井町さくら認定こども園様にて開催させていただきました。

《テーマ》「人を喜ばせる」



司会は岡田和行さんです。



立腰。皆の背筋がまっすぐに。



自己紹介と掃除の思いの発表。



道具説明に皆真剣なまなざし。



皆座って掃除開始前の説明。



いよいよトイレ掃除の開始です。



先生と一緒に掃除しています。



便器をしっかり磨いています。



きれいになったかなあ～？



洗面台をピカピカに。



みずこしをきれいに。



鏡がピカピカになりました。



道具をきれいにします。



皆で片づけをしています。



トイレ前でのチーム終礼。

◆各班代表による体験発表

1. いつもしているトイレ掃除ではありますが、見えないところの掃除も教えていただき、歯ブラシで磨いたりトイレの鏡を磨きながら、あらためてトイレの良さ、いつも使っている所の良さを感じました。使うからこそ磨く、磨いた所を使う、その繰り返して愛着が湧くのだと思いました。子供たちと一緒に掃除ができてトイレがきれいになりとても良かったと思いました。今日は大変勉強になりました。ありがとうございました。
2. 掃除というと今まで私の中では少しマイナスの印象がありました。でも今日の掃除に参加させていただき、掃除することによって「きれいになったね」と子供たちと喜びを共有することができました。また使う道具によごれの落ち具合も変わることを学びました。今日のことを活かしてトイレ掃除を頑張ろうと思いました。
3. トイレの便器の掃除に素手でスポンジを持って？最初は少し抵抗がありましたが、磨いているうちにきれいになって良かったです。一緒に掃除をしていた子供が便器をのぞいて「ここ汚れている」と教えてくれました。子供からも学びました。今日学ばせていただいたことを活かしてこれからもトイレ掃除を頑張ります。
4. 掃除というと少し苦手で後回しにしていました。初めて使う道具を使ってきれいにしていったので、大変興味をもってきれいにできたと実感できました。見たくない部分を見ることができた時間を作っていただいたことに感謝します。これからも見えない所を見て自分の気持ちをすっきりさせたいと思います。



各班を代表し発表された方々



徳島掃除に学ぶ会よりさくら認定
こども園様へ記念品を贈呈。



最後は全員で故郷の合唱を行いました。

◆清重園長先生のご挨拶

皆様ありがとうございました。

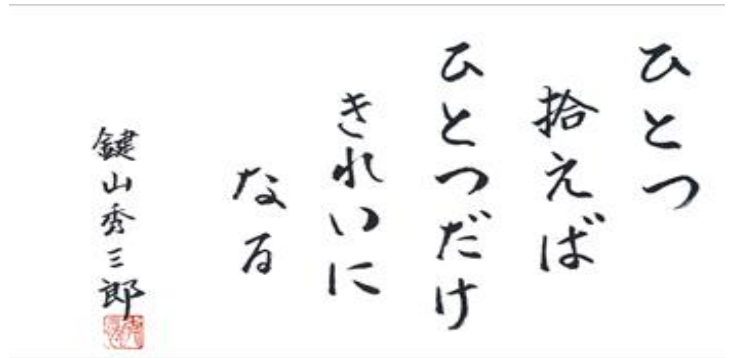
皆様の手際の良さに乗り遅れて躊躇しました。

子供たちと学ぶ場所なので、子供たちの奥深い心を読もうね、見えないところを見ようねと言いながら今日のトイレ掃除をみて出来てないことに気付きました。これからはもっともっと思えないところをみていこうと思います。

バイパス（道路沿い）で鍛谷代表が「凡事徹底」の衣裳を着てゴミを拾っているのをお見受けして、頭が下がりました。

健康でないと人様のお役にも立てない、私も健康に気を付けて人様のお役に立ちたいと思います。

人は人から受けた恩を忘れるようにできているので、忘れないようにして少しでも人様のお役に立ちたいと思います。



記念品の額

お話をされる石井町さくら認定こども園園長 清重 弘子様

◆終わりの会挨拶 徳島掃除に学ぶ会 齊藤 利行さん

私は今まで掃除に学ぶ会に継続して参加しております。私の思いを發表させていただきます。

今の世の中、いじめの問題や親が子をまたは子が親を傷つけるといった問題が後を絶ちません。私は、このことは教育の問題ではないかと考えます。子供の時に神様、仏様に手を合わせる、挨拶をする、「はい」と返事をする、履物を揃える、こういったことができている、このような問題は無くなるのではないかと思います。

今日掃除をされた小さい子供さんは、今日のことが記憶に鮮明に残るだろうと思います。これからもお掃除を通じて小さい子供さんを少しでも導くことができればよいなと思います。日本の国が良くなっていくようにこれからも子供達とふれあっていきます。本日はありがとうございました



テーマの説明 【人を喜ばせる】というか喜んでもらえる事を考えて行動する。何をしても自分の為にしては甲斐がない？オリンピックの選手とかも家族を喜ばせたいとかコーチへのプレゼントとか言っておられました。何でも、自分の為だったら続かないし、頑張れないと思います。



掃除に学ぶ会を創設された日本を美しくする会の現相談役 鍵山秀三郎さんは、「自分の体を使って人を喜ばせる事が自分の人生を良くし、世の中を良くすると確信しています。」又「手紙を書いたり、お掃除をしたり、良い事に手を使えば、頭で悪い事を考えない。悪い事を考える人は手も悪い事をする」ということを言われています。

徳島掃除に学ぶ会の野田やよいさんがよく言われる「お掃除は良い人が良い人に会える場所」お蔭で私も、良い環境で良い人に囲まれて成長させていただいているといつも感謝して毎日過ごしています。保育園では子供たちに囲まれて、子供たちも良い先生に囲まれている。子供たちに悪人はいませんから、先生方も良い環境でいられると思います。私は、職場も家庭も良い所で過ごせているといつも感謝しています。だから、今日のトイレ掃除もまたきれいな状態に戻すことで、みんなの心もさわやかになって、皆を喜ばせるいい機会だと思います。

『微笑み』

「ほほえみは、お金を掃う必要のない安いものだが、相手にとっては非常な価値を持つ。ほほえまれた者を豊かにしながら、ほほえんだ人は何も失わない。瞬間的に消えるが、記憶には永久にとどまる。お金があっても、ほほえみなしには貧しく、貧しくとも、ほほえみのある家は豊かだ。ほほえみは、家庭に平和を生み出し、社会を明るくす善意に満ちたものにし、二人の間に友情をはぐくむ。疲れた者には休息を与え、失望する者には光となり、いろいろな心配に思い病んでいる人には解毒剤の役割を果たす。しかも買うことができないもの 頼んで得られないもの 仮られもしない代わりに盗まれないもの もし、あなたが誰かに期待したほほえみが得られないなら、不愉快になる代わりに、あなたの方からほほえみかけてごらんください。実際、ほほえみを忘れた人ほど、それを必要としている人はいないのだから。」

著作：『忘れかけていた大切なこと：ほほえみ一つで人生は変わる』より

大事なのは最後の「もしあなたが・・・」というところです。これを環境に変えていいかもしれません。汚す人がいても不愉快にならず、進んで自分からきれいにする。人を喜ばせるということにつながるのではないかと思います。今日も、身体を使って人を喜ばせるお掃除を一緒にさせていただきたいと思います。